2026 年 6 月 23 日
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

ダイナミックマッププラットフォーム、「ITS America Conference & Expo 2026」に出展

～モビリティ向け高精度 3 次元データの橋梁・トンネルなどインフラ管理分野への展開を紹介～

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)は、2026 年 6 月 9 日(火)～12 日(金)に米国ミシガン州デトロイトで開催された「ITS America Conference & Expo 2026」に、北米拠点である Dynamic Map Platform North America(以下「DMP NA」)を通じて出展しましたので、お知らせします。



ITS America Conference & Expo 2026 会場内の当社ブースの様子

「ITS America Conference & Expo」は、交通分野における官公庁・産業界・研究機関の関係者が一堂に会し、高度道路交通システム(ITS)の社会実装に向けた最新動向や技術を共有する北米最大級の国際イベントです。2026 年は 3,000 名を超える来場者、170 社以上の出展企業、100 以上のセッションが集まり、交通・モビリティ分野に関する活発な議論や情報交換が行われました。

本イベントへの出展は、米国および各州の交通当局との関係構築やニーズ把握、ならびに当社の高精度 3 次元データとその活用領域に関する認知向上を目的としたものです。当社ブースでは、高精度 3 次元データの活用事例について、モビリティ分野に加え、橋梁・トンネルなどインフラ管理への展開についても紹介しました。

特に今回の展示では、高精度 3 次元データのインフラ管理分野への展開事例として、北米交通当局向けの橋梁・トンネル管理ソリューションを紹介しました。本ソリューションの詳細については、別途お知らせいたします。

モビリティ分野においては、高精度 3 次元データの活用事例として、自動運転で課題となる複雑な交差点やトンネル、急カーブなどの道路環境への対応を紹介しました。また、道路オブジェクトや車線情報などを含むデータ構造、V2X 向け信号情報との連携例、シミュレーションへの活用例などについても説明し、当社データがモビリティ分野において果たす役割を紹介しました。



当社データの活用事例について来場者へ説明する DMP NA スタッフ

ブースには、州政府・交通当局をはじめ、自動車メーカー(OEM)、ティア 1 サプライヤー、モビリティ関連企業、通信事業者、公共交通・インフラ関係者、大学・研究機関など、多様な来場者が訪れました。特に州交通当局とは、橋梁・トンネルのクリアランス情報整備に関するニーズや導入検討状況について意見交換を行いました。また、交通管理や V2X 分野を含む民間企業との間では、今後の協業可能性について議論を行いました。

当社は今後も、高精度 3 次元データの整備・活用を通じてモビリティ分野の高度化に取り組むとともに、インフラ管理分野を含む新たな活用領域の拡大を進め、より安全で効率的な社会基盤の実現に貢献してまいります。

＜「ITS America Conference & Expo 2026」概要＞

■開催日時　2026 年 6 月 9 日(火)～12 日(金)
■会場　Huntington Place(米国ミシガン州デトロイト)
■主催　the Intelligent Transportation Society of America (ITS America)
公式サイト: https://www.itsamericaevents.com/expo/en-us.html

■本件に関する問い合わせ
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
メール：ir@dynamic-maps.co.jp
HP：https://www.dynamic-maps.co.jp/